

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-101994

(43) 公開日 平成9年(1997)4月15日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
G 0 6 F 19/00

識別記号 庁内整理番号

F I  
G 0 6 F 15/28

技術表示箇所

B

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-260511

(22) 出願日 平成7年(1995)10月6日

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 因田 房生

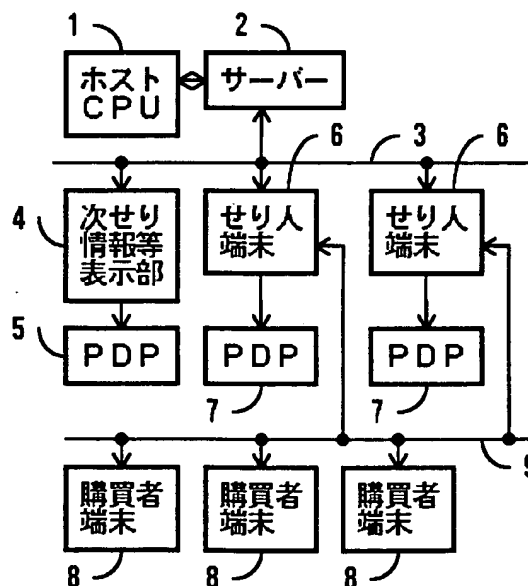
川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士  
通ゼネラル内

(54) 【発明の名称】 せりシステム

(57) 【要約】

【課題】 せりシステムの表示装置の設置場所を取らず、かつ、フルカラーが可能なせり情報表示手段を提供する。

【解決手段】 せり人端末6ではサーバー側LAN3を通してサーバー2によりホストCPU1等に蓄積して有るせり情報を受け取り、PDPを使用した表示装置7に表示する。せりの購買者はその表示装置7に表示されたせり情報を見て、応札する場合には購買者端末8から応札に必要な情報を入力する。入力した応札情報は購買者端末側LAN9を通してせり人端末に転送され、応札が成立すると購買者番号等の応札情報が表示装置7に表示される。表示装置7のPDPは単独で構成することもできるが、例えば9枚のPDPを3枚ずつ縦横に並べたマルチパネルで1つの表示装置を作ることで、大画面の表示装置となり、多くの購買者が同時に見ることができるせり情報の表示装置となる。



BEST AVAILABLE COPY

**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 せりにおける購買者に必要なせり情報等を表示装置に表示して、表示された前記せり情報により購買者が応札することによりせりを行うせりシステムにおいて、前記せり情報を表示する表示装置としてPDP（プラズマディスプレイパネル）を使用することを特徴としたせりシステム。

【請求項2】 PDPは複数のPDPを組み合わせたマルチパネル表示装置としてせり情報等を表示することを特徴とした請求項1記載のせりシステム。

【請求項3】 PDPを使用した表示装置に購買者が必要なせり情報を表示し、購買者による購買者端末から入力された応札情報により自動せりを行うことを特徴とした請求項1又は請求項2記載のせりシステム。

【請求項4】 PDPを使用した表示装置に購買者が必要なせり情報を表示し、購買者による手ぜりによる応札情報により表示せりを行うことを特徴とした請求項1又は請求項2記載のせりシステム。

【請求項5】 PDPを使用した表示装置に、入荷情報や次のせり情報等のせりサービス情報を表示してせりを行うことを特徴とした請求項1、請求項2、請求項3又は請求項4記載のせりシステム。

【請求項6】 PDPを使用した表示装置は複数枚背面を合わせて組み合わせた表示装置とし、同表示装置の両側から見ることを可能とすることを特徴とした請求項1、請求項2、請求項3、請求項4又は請求項5記載のせりシステム。

【請求項7】 表示装置の設置は可動型とし、表示装置を移動して設置してせりを行うことを特徴とした請求項1、請求項2、請求項3、請求項4、請求項5又は請求項6記載のせりシステム。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、せり情報の表示装置としてPDPを使用したせりシステムに関する。

**【0002】**

【従来の技術】 従来のせりシステムのせり情報表示装置としては、LEDパネルやプロジェクタ等を使用していた。しかしLEDパネルでは表示する色が限定され、フルカラー表示が不可能である。一方プロジェクタでは投射距離を必要とするため、天井から吊り下げたり、奥行きの大い背面投射型を使用しなければならなかった。また、せり会場を暗くする必要もあった。

**【0003】**

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上記問題点に鑑みなされたもので、せりシステムの表示装置の設置場所を取らず、かつ、フルカラーが可能なせり情報表示手段を提供することにある。

**【0004】**

【課題を解決するための手段】 せり情報を表示する表示

装置として、PDP（プラズマディスプレイパネル）を使用する。

【0005】 PDPは複数のPDPを組み合わせたマルチパネル表示装置としてせり情報を表示する。

【0006】 PDPを使用した表示装置に購買者が必要なせり情報を表示し、購買者が有する購買者端末から入力された応札情報により自動せりを行う。

【0007】 PDPを使用した表示装置に購買者が必要なせり情報を表示し、購買者による手ぜりによる応札情報により表示せりを行う。

【0008】 PDPを使用した表示装置に、入荷情報や次のせり情報等のせりサービス情報を表示してせりを行う。

【0009】 PDPを使用した表示装置は複数枚背面を合わせて組み合わせた表示装置とする。

【0010】 表示装置の設置は可動型とし、表示装置を移動して設置してせりを行う。

**【0011】**

【作用】 せり情報を表示する表示装置として、PDP（プラズマディスプレイパネル）を使用することで、奥行きが小さくなり、かつ、カラー表示が可能となる。

【0012】 PDPは複数のPDPを組み合わせたマルチパネル表示装置としてせり情報を表示することで、大画面に拡大表示ができる。

【0013】 PDPを使用した表示装置に購買者が必要なせり情報を表示し、購買者が有する購買者端末から入力された応札情報により自動せりを行うことで、自動的にせり情報や応札状況の表示ができる。

【0014】 PDPを使用した表示装置に購買者が必要なせり情報を表示し、購買者による手ぜりによる応札情報により表示せりを行うことで、簡易で能率的なせりシステムができる。

【0015】 PDPを使用した表示装置に、入荷情報や次のせり情報等のせりサービス情報を表示してせりを行うことで、せりを円滑に行う情報を的確に表示できる。

【0016】 PDPを使用した表示装置は複数枚背面を合わせて組み合わせた表示装置とすることで、表示装置の両面せり情報が表示できる。

【0017】 表示装置の設置は可動型とし、表示装置を移動して設置してせりを行うことで、せり会場が柔軟に設定できる。

**【0018】**

【実施例】 以下、本発明によるせりシステムについて、図を用いて詳細に説明する。図1は、本発明によるせりシステムの1実施例の主要部のブロック図である。せり人端末6ではサーバー側LAN（ローカルエリアネットワーク）3を通してサーバー2によりホストCPU1等に蓄積して有るせり対象物の品名や産地などのせり情報を受け取り、PDP（プラズマディスプレイパネル）を

使用した表示装置7に表示する。せりの購買者はその表示装置7に表示されたせり情報をみて、応札する場合には購買者端末8からせり人を特定するレーン選択や口数等の応札に必要な情報を入力する。入力した応札情報は購買者端末側LAN9を通してせり人端末に転送され、応札が成立すると購買者番号等の応札情報が表示装置7に表示される。このようにして、自動せりシステムが構築できる。表示装置7のPDPは単独で構成することもできるが、例えば9枚のPDPを3枚ずつ縦横に並べたマルチパネルで1つの表示装置を作ることで、大画面の表示装置となり、多くの購買者が同時に見る事ができるせり情報の表示装置となる。

【0019】本発明によるせりシステムの別の実施例としては、上記と同様に、せり人端末6ではサーバー側LAN（ローカルエリアネットワーク）3を通してサーバー2によりホストCPU1等に蓄積して有るせり対象物の品名や産地などのせり情報を受け取り、PDP（プラズマディスプレイパネル）を使用した表示装置7に表示する。せりの購買者はその表示装置7に表示されたせり情報をみて、応札する場合には用手手法により応札に必要な応答を行う手ぜりにより応札する、応札が成立するとせり人側のオペレータがその応札情報をせり人端末7に入力して購買者番号等の応札情報が表示装置7に表示される。このようにして、購買者端末を要しない表示せりシステムが構築できる。

【0020】本発明によるせりシステムの他の実施例としては、次せり情報等表示部4により、サーバー側LAN3を通してサーバー2又はホストCPU1から入荷情報や次のせり対象物の品名、産地、口数（せり単位での数量）、入数（1口数当たりの含有数量）等の次せり情報等のせりサービス情報を受け取り、PDPからなる表示装置5に表示する。

【0021】PDPを使用した表示装置は、通常の表示装置におけるように片側のみから見るようにすることもできるが、複数のPDPの背面同士を合わせて1つの表示装置とし、表示装置に両面にせり情報等を表示してPDPの両側から表示内容を見るようにすることもできる。

【0022】PDPを使用した表示装置には、例えば脚部を有する床置き型とし、その脚部の接地面に台車を取り付ける等で移動できるようにし、せり会場の購買者数やせり対象物の口数等に合わせて移動して設定することもできる。

【0023】

【発明の効果】以上説明したように、せり情報を表示する表示装置としてPDPを使用することで、奥行きの小さい表示装置となり、かつ、カラー表示が可能となり、さらには、せり会場を暗くする必要も無くなるため、使い勝手が良く迅速で正確な情報交換が可能となり信頼性の高いせりシステムが構築できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるせりシステムの1実施例の主要部のブロック図である。

【符号の説明】

- 1 ホストCPU
- 2 サーバー
- 3 サーバー側LAN
- 4 次せり情報等表示部
- 5 PDPを使用した表示装置
- 6 せり人端末
- 7 PDPを使用した表示装置
- 8 購買者端末
- 9 購買者端末側LAN

【図1】

